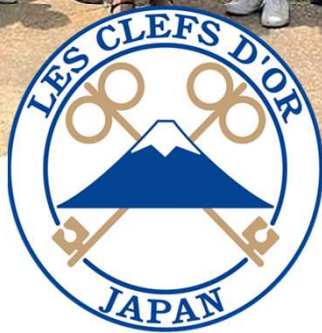


レ・クレドール ジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Les Clefs d'Or Japan

Key News



2023年6月 第61号

発行：今泉愛子

編集：田中英司 嵯峨崎のぞみ

Website : lesclefsdorjapan.com



Les Clefs d'Or Japan



[lesclefsdorjapan](https://www.instagram.com/lesclefsdorjapan)

富山県視察

アフィリエイトメンバーの雅緑株式会社の和田氏と富山県庁地方創生局のお力添えのもと、6月5日から7日の2泊3日でレ・クレドールメンバー7名で富山県の視察に行ってきました。



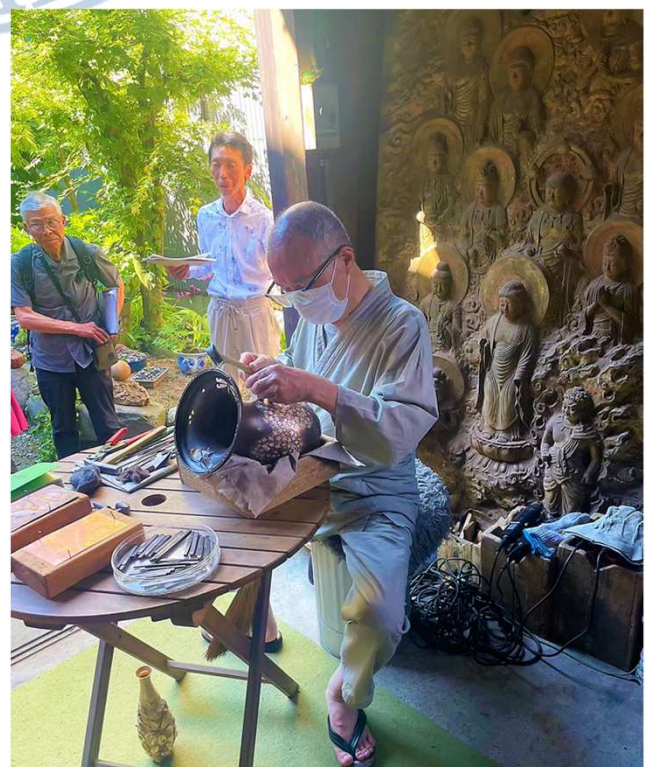
初日はまず高岡市にある『能作』を訪れました。高岡市は鋳物生産では国内トップシェアを誇ります。創業から100年の能作で職人さん達の作業場を近い距離で見せて頂きました。若い職人さんからベテランの方まで全て手作業で熱心に製造しており、真鍮や錫の美しい製品が一つ一つ手作りの工芸品である事に感動しました。ショップで様々な商品を購入する事も出来、山並みを背景に本社建物や内装も大変美しく数々のデザイン賞も受賞しています。

次に砺波市に移動し、若鶴酒造を視察致しました。江戸時代末期（1862年）に日本酒造りを初め、戦後（1952年）はウイスキーの製造に着手した伝統ある酒造メーカー。併設のレストランにて美味しいランチを頂いた後、ウイスキー蒸留所を見学しました。モルトの素晴らしい香りが充満し、数々の樽の中には富山県産の木材を使った樽もあります。試飲したウイスキーのスモーキーなフレーバーに一同感激でした。富山発の画期的なポットスチル、世界初の鋳物製銅錫合金単式蒸留器ZEMONも拝見いたしました。

高岡市に戻り、鋳物資料館を視察致しました。400年前から続く高岡鋳物の歴史を知る事が出来る資料館。製造工程などが分かりやすく展示されており仕上げのカラーリングの豊富さにも驚きました。

その後、古い街並みの美しい金屋町にある四津川製作所では、斬新でモダンなワイングラスやぐい呑みなど国内外から高い支持を得ている作品を見学しました。数々の賞を受賞しているのも納得の洗練された作品で、どれも自宅に買って行きたくなるようなデザイン性の高さに感動しました。

1日目の最後は御車山会館を訪れました。ユネスコ無形文化遺産である御車山が通年展示されている施設。御車山は高さが9メートルにもなり圧巻の迫力でした。



2日目は富山市、高岡市、射水市を訪問しました。近年、食通の間で非常に話題となっている富山市岩瀬地区は、北前船廻問屋の屋敷と、人気レストランが隣接しているのが特徴です。実はこの地区の一部は、近代的な建物をリノベーションし、昔の建物に調和する形で復元したことで、「満寿泉」の梶田社長が気鋭のレストランを誘致したことを紹介されました。

午後は人気のミュージアムを訪問。高岡市美術館では漫画「ドラえもん」の作者、藤子・F・不二雄氏(高岡市出身)の画業を称えるふるさとギャラリーを訪れ、デビュー前からの貴重な原稿を見ることができました。また富山市ガラス美術館では、隈研吾氏設計のガラスとアルミをふんだんに使用したスタイリッシュな建築と、世界的なガラス作家のインスタレーション、地元のガラス作家による繊細で美しい作品の数々を堪能しました。そして最も感動したのは、高岡市の瑞龍寺でした。喧噪とは無縁の静謐な空間に国宝の山門、法堂、仏殿が立ち並び、参拝者を迎えてくれます。禅宗らしい落ち着いた雰囲気のある建物ですが、細部の彫刻などは息を呑む美しさでした。住職のお話から、加賀藩の藩主の菩提寺として建立され、歴史的にも重要な場であったことも分かりました。

3日目はまず南砺市福光にある棟方志功ゆかりの寺の光徳寺を訪れました。この地は棟方志功の疎開先で、棟方が一気に描いたという圧巻の襖絵をはじめ、多くの作品が残っています。また、当時の住職が収集した国内外の民藝が美しく飾られており、お寺というよりも美術館の趣がある素晴らしい空間でした。



その後五箇山(相倉/管沼)集落を視察しました。合掌造りの家屋群がある2つの地区で、相倉では合掌造りの家に住む地元の方から、集落が残ったいきさつや生活の様子など、興味深いお話を聞くことができました。管沼は小さな集落ですが、景観がとても美しく、散策しているだけでとても豊かな気持ちになれる場所でした。続いて木彫刻のまち・井波で、地元のガイドさんに井波彫刻(井波彫り)を案内していただきました。古い街並みを残す通りの工房で、制作の様子を見学させていただいたり、猫の彫刻を探したりしながら散策を楽しめます。古刹・瑞龍寺の山門の彫刻は見事なもので、非常に見る価値の高いものでした。



井波をあとにした後、IWA(白岩)へ。「ドンペリニヨン」の元醸造最高責任者であるリシャル・ジョフロワ氏が手がける日本酒「IWA」の醸造所。山あいの地で富山湾を眺める素晴らしいロケーションと、隈研吾氏による美しい建物、そしてIWAのストーリーが感動的でした。試飲のお酒は今までにない口当たりと豊かな味わいでとても素晴らしいものでした。

最後の視察は富山市にある秋水美術館へ。重要文化財を含む豊富な日本刀コレクションで知られる美術館。館長さんや学芸員さんの情熱のこもった解説が印象的でした。刃紋を美しく見せるためのライティングなど、刀剣を鑑賞するために工夫された展示方法が秀逸でした。



富山のさまざまな魅力を見せてくれた3日間でした。経験した事をお客様にも紹介していきたいと思っております。

Getting to know our members!

パレスホテル東京
アシスタントチーフコンシェルジュ
端谷 舞

コンシェルジュ歴：10年

レ・クレドール歴：2年

所属ホテルのハイライト

昨年（2022年5月17日）、開業10周年を迎えました。新しいスイートルームが新設され、全284室の内18室がスイートルームです。丸の内という都心にありながら、緑あふれる景色をお楽しみいただけますので、バルコニーのあるお部屋でゆったりとしたひとときをお過ごしになるのはいかがでしょうか？館内には、約720点を超える現代アートがあり、アートツアーもとても好評いただいております。



休日の過ごし方

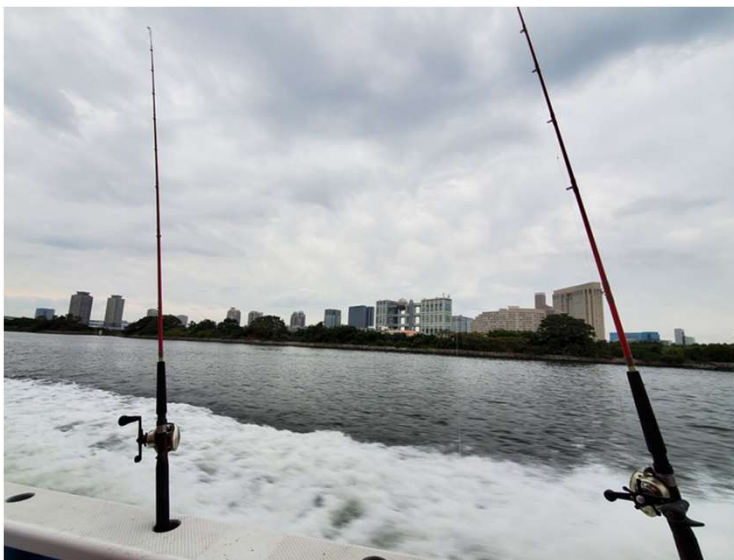
休日は、ショッピングに出かけたり、舞台観劇に出かけたりします。魚釣りも好きなので、年に数回、友人たちと東京湾で太刀魚釣りを楽しんでいます。毎月1日だけ、メンテナンス日と称して、スパやネイルサロン、ヘアサロンなどに行き自身のメンテナンス&リフレッシュをして過ごすようにしています。

とっておきの場所

幼いころから通っている、愛知県の覚王山にある梅花堂さんです。一番人気は、鬼まんじゅうというさつまいもがふんだんに使われている商品です。今でも、帰省する度に必ず訪れ、東京でも食べられるようにストックをするほどです。週末は、午前中に売り切れてしまうことが多いので予約がお勧めです。

一番好きなホテル映画

好きなホテル映画は、グランドブダペストホテルです。自粛期間中にフランスのレクレドールメンバーがシェアしてくださったホテル映画のリストから、この映画を鑑賞しました。素敵な“マジック”を起こしているかのように、難しい依頼にいろいろなホテルのコンシェルジュたちが協力して次々と答えていくシーンが印象的でした。コンシェルジュのネットワークの素晴らしさを改めて映画から再認識させられたことを覚えています。



マンダリンオリエンタル東京 コンシェルジュ&ゲストエクスペリエンス ディレクター Akhil TIWARI

コンシェルジュ歴：23年

レ・クレドール歴：6年

所属ホテルのハイライト

マンダリン オリエンタル 東京は、素晴らしいデザインと受賞歴のあるサービスにより、東京の洗練されたラグジュアリーの特徴として認められています。シーザー・ペリ設計の日本橋三井タワー内に、豪華な客室、様々なレストランやバー、受賞歴のあるスパを備えています。また、隣接する日本文化遺産「三井本館」の重厚な宴会・会議施設も利用でき、日本橋のスカイラインを一望できる絶好のロケーションです。すべての客室、バー、レストランから、目を見張るような眺望を楽しむことができます。

休日の過ごし方

時事問題を意識してネットで新聞を読んだり、静かな日々を過ごすことが多いですが、同時に友人と出かけたり、家族でテレビを見るなど楽しい時間を過ごしたり、気分転換に料理を作ったりゆっくりとした時間を過ごすようにしています。また、早起きしてランニングをする事も好きです。走っているときに、いいアイデアが浮かぶことが多いです。外に出て爽快なアクティビティをすることによって穏やかな気分を得ることができます。



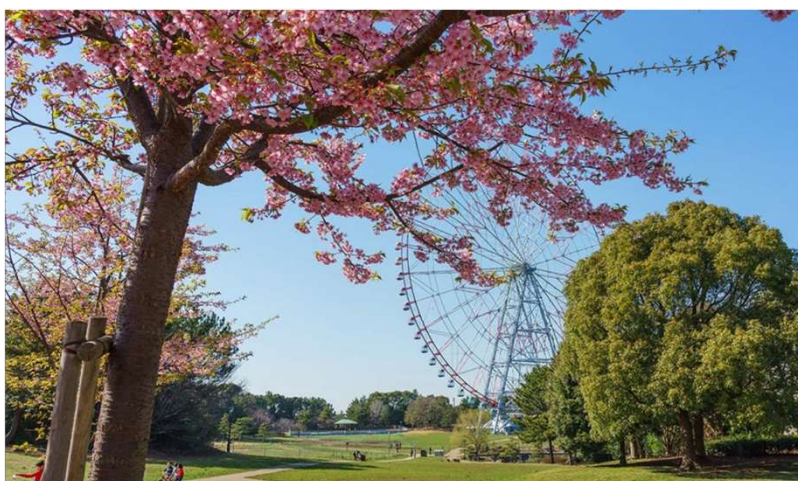
とっておきの場所

東京都江戸川区の東の端に位置する葛西臨海公園は、都心で最大の広さを誇る公園です。敷地内には、水族園、海鳥の森、様々な花々、観覧車、ハイキングコース、バーベキュースペースなどがあり、大人も子供も楽しめる1日居ても飽きない公園です。2つの大きな売店やレストラン「ブルーマリン」の店内で休憩するのもおすすめです。園内には約25分で公園内3.1kmをパークトレインで周遊することができます。特にグループやお子様連れにおすすめです。また葛西臨海公園とお台場を結ぶ水上バスが運行しているのも特徴です。

一番好きなレストラン

総料理長のダニエル・カルバートによる、フォーシーズンズホテル丸の内 東京7階にあるミシュラン2つ星レストラン

「SÉZANNE (セザン)」では、建築家アンドレ・フーデザインによる空間で、都会の景観を眺めながらアペリティフを楽しむ「サロン」、臨場感あふれるキッチンが見えるコンテンポラリーな「メインダイニング」、シェフの技を間近に感じていただける個室「シェフズテーブル」の3つの異なるエレメントで構成され、洗練されたサービスとともに、四季折々のメニューが楽しめます。



定例会報告

文：田中英司

5月

・東京真珠株式会社の弓田様より、真珠についてのご講演を頂いた。淡水、海水の真珠など種類の違い、それぞれのケアの仕方、磨き方、競合他社との比較など、会場には実際に商品をお持ち下さり、日英両言語でご説明頂いた。

・レ・クレドール ジャパンCSR活動への取り組みの一つであるNPO法人キッズドアとの関わり合いについて、今後キャリアトークなどを中心に、外国語を学びながら外国についてのお話やホテルコンシェルジュという職業の紹介などを伝えることで、将来観光業に携わる事に少しでも興味を持って頂ける様な取り組みを目指すとの報告があった。

・アフィリエイトからのご報告の中で、飲食業界において人手不足のため予約数に制限があり、更に主に海外ゲストからのノーショーなどによって更に席が埋まっていない現状のご報告を頂いた。こうした問題に対し、予約時にカード情報が必要なオンライン予約サイトを設置し、対応にあたるなどの対策を講じているとのこと。

6月

・定例会会場は京都市内しょうざんリゾートで開催され、現地参加者はアフィリエイトを含め11名であった。今後の定例会について、オンラインは暫く継続するものの、より多くのメンバーが積極的に現地参加できる環境づくりに努めていく。今後の定例会予定地は、新潟、東京、石川、広島。

・6月5日から7日までアフィリエイトメンバーの雅縁株式会社 和田 瑛子様と富山県庁様ご協力の元、富山県の視察が行われ、レ・クレドールメンバー7名が参加、3日間に渡り、ウイスキー醸造所から世界遺産五箇山の合掌造りの里を含む数々の観光名所を巡った。詳細は特集記事で紹介。

・株式会社ゑり善、代表取締役社長 亀井 彬様より着物の着こなしなどについてご講演頂いた。ゑり善様のルーツともなった半襟や貴重な実物の展示、余り生地を残さない着物のSDGsな加工方法、親から子へ譲る事のできる驚くべき縫製技術、どの様な行事で誰の為に着物を着るのか、時には引き算で表現する色柄小物類の選び方、相手の着こなしを受け入れ認める多様性文化についてなど、着物の世界をご紹介頂いた。

